

会 議 録

会議の名称		令和 8 年度第 1 回みどりの学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和 8 年(2026 年) 6 月 5 日 (金) 開会 14:30 閉会 16:00		
開催場所		つくば市立みどりの学園義務教育学校 校長室		
事務局 (担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	小山 勇気、奥脇 章豊 (オンライン)、渡邊 周一 (オンライン) 黒井 志帆、 岩村 一代、 校長：山田 聡 副校長：中村 めぐみ 教頭：水挽 広美 教頭：大山 喜裕 7 学年主任：川島 翼		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0 人
非公開の場合は その理由				
議題		地域連携事業について		
会議録署名人		川島 翼	確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 任命書交付 3 挨拶・委員紹介 ・学校長挨拶 ・委員紹介 (自己紹介) 4 説明・報告事項 5 会長・副会長の選出 6 協議 (1) 学校運営の基本方針 (グランドデザイン) について (2) 地域連携事業について ア 地域人材の活用について イ 「今の教育について一緒に学ぶ会」 について ウ 7 月期「マルシェ」について			

	(3) その他 ・支援企業の紹介 ・本日の「みどりのタイム」について
7	閉会

<協議内容>

1 開会

- ・開会し、書記に川島委員を選定、承認

2 任命書交付

- ・協議会委員への任命書及びC S コーディネーターへの委嘱状を交付

3 挨拶・委員紹介

- ・山田委員より挨拶。学校ビジョン「自らの感性を磨き、絶え間なく向上し、幸せな未来を創造しようとする学園生の育成」を、学校・地域・家庭の三つの柱で支える方針が示された。
- ・出席委員が自己紹介を行った。

4 説明・報告事項

(1) 令和8年度つくば市コミュニティ・スクール重点項目について（酒井指導員）

- ・重点項目として「地域と学校で子供の学びと育ちを支える」「大人がつながる」「静かに、長く、あたたかく」の3点が示された。
- ・評価ガイドラインを活用し、年度当初と年度末に目標到達度を自己評価して改善につなげる。
- ・C S 周知のための写真撮影を、個人情報に配慮した上で容認する方針が確認された（顔出しを希望しない場合は事務局へ）。
- ・委員は非常勤特別職として守秘義務等の責務がある。
- ・地域と学校の連携予算は市標準 375,000 円、みどりの学園は義務教育学校（2校分）のため 750,000 円が配分される。地域連携を条件に学校裁量で執行し、透明性確保のため委員に提示し意見を聴取する。
- ・C S コーディネーター（坪井委員）の任用・活躍を重視し、地域との接続・相談窓口としての役割を期待する。
- ・連絡ツールとして学園ごとの Teams 枠を準備する。委員向け説明動画は作成済みで後日共有し、欠席者へは事務局より資料を送付する。市全体アンケートを今年度も同様の項目で実施予定である。

(2) 令和7年度決算報告及び令和8年度予算計画（案）について（学校から報告）

- ・令和7年度は、①公園マルシェ連携（生徒発表・体育活動体験）、②校内美化（保護者・地域参加）、③茅丸・御角堂連携イベント（郷土保存、バス利用）の三本柱で実施した。
- ・令和8年度は、マルシェとイルミネーションを二本柱とし、児童生徒の参加拡大を図る。イルミネーション機器等（学習成果の地域発信）、校内美化・地域資源（茅丸）活動、ボランティア中心者への謝礼に重点配分する。
- ・質疑：謝礼の対象範囲について、校内美化の物品手配・割り振りやマルシェのテント設営等の中心者に謝礼を支払う方針を確認した。

5 会長・副会長の選出

- ・委員の互選により、会長に黒井志帆委員を選出した。副会長は後日選任する。

6 協議

(1) 学校運営の基本方針（グランドデザイン）について（中村委員）

- ・学校・地域（連携企業を含む）・家庭（保護者）の三者で教育を支える方針が示された。
- ・今年度の新規方針として、教育課程を圧縮して「余白」を創出し、児童生徒の自由な個別探究の時間を確保するとともに、教職員の働き方改革を推進することが説明された。
- ・働き方改革の指標として、在校時間外勤務の月80時間超過の防止、及び在校時間の縮減（週30時間以内の達成率80%を目標）を掲げた。年次休暇は5月までに81件取得。中学校籍教員の在校時間が長い傾向や低学年担任の退勤の遅さ等の課題を、個別アプローチで支援・分析する。
- ・学校運営の基本方針の承認と併せ、教職員の業務量管理・健康確保措置についても承認を得た。
- ・保護者と学校の連絡やモヤモヤへの配慮、保護者の横のつながりの希薄化が課題として挙げられ（黒井委員・岩村委員）、相談窓口や茶話会等の気軽な交流機会の必要性が議論された。
- ・質疑：奥脇委員より民間企業における労働時間管理（残業・有給の目標管理）の実例が紹介され、学校現場との差異について意見が出された。
- ・以上について、グランドデザイン（教育課程の余白創出、探究・働き方改革の推進）を拍手により承認

(2) 地域連携事業について

ア 地域人材の活用について（川島委員）

- ・専門性の導入として、水泳授業への水泳コーチの参加（見守り・事故予防、教員の学び）を進める。

- ・地域ボランティアの拡充として、昔遊び、ミシン、清掃、クラブ活動での日本文化（着付け・華道・茶道）体験支援等を募る。

- ・町探検・郷土学習では、3～4年生に地域の暮らしやまちの変遷を語る人材を招く。

1時間の授業に複数名を配置し、少人数指導・質問時間の拡大を図る。

- ・地域人材バンクは公募と紹介を組み合わせで募集する方向で検討中。重点分野を明示して紹介を促し、謝礼を用意して継続運用を視野に入れる。

- ・質疑：岩村委員より人材バンクの継続性・更新負担が課題として提起され、地域サポーターの活用が提案された。

イ 「今の教育について一緒に学ぶ会」について

- ・会場をグリーンコートとし、校舎・体育館へのプロジェクションで教育の姿を投影する。ICTクラブ等の生徒発表、保護者との座談・ゆるやかなQ&Aを行う。

- ・学校の取組理解と保護者の不安軽減、家庭教育学級の肩肘張らない形での実施を目的とする。7月18日のマルシェに合わせて実施し、学校・生徒の参加を条件に、学校のCS予算でマルシェ関連備品等を支出する。

ウ 7月期「マルシェ」について（みどりのSCC・小山委員）

- ・夏マルシェを7月18日（土）に開催し花火約300発を予定、秋マルシェを11月7日（土）に開催しLEDナイトランタンを実施する。

- ・規模はキッチンカー20、クラフト20、ブース10の約50～60店舗。筑波大学のボランティア約20名、地域企業10～20社の協賛を予定し、南中学校とも連動して運営する。

- ・安全管理として、花火の保安距離の確保と路上駐車対策を重要事項として確認した。

(3) その他

- ・連携企業より、広告視聴でポイントが貯まる仕組み（スクリレポイント）の提供について紹介があった。

- ・お譲り会（ミドサポ）について、在庫が小さいサイズに偏る課題があり、未就学児・新一年生家庭（保育園・幼稚園を含む）へ周知対象を拡大する。10月の就学児検診で告知し、11月7日のマルシェで実施する。体操服の追加回収を強化し、学校配布チラシにも掲載する。

- ・茅丸・五角堂連携（茅葺き文化保存会）について、11月頃に茅刈りイベントを再実施予定（11月14～15日頃で調整中、場所は今月中の確定を目標）。学園生・保護者・地域住民・保存会ボランティア約50名規模で、保存会が申込管理・保険対応を一括し学校の負担を軽減する。

- ・イルミネーション事業について、渡邊委員より地域との共同実施の提案があり、渡邊・奥脇・小山の各委員で別途打合せを行い、予算・学生参加設計・スケジュールを具体化することを確認した。

7 閉会

- ・次回会議は9月16日を予定し、閉会。

令和8年度 第1回

みどりの学園コミュニティ・スクール協議会

日 時：令和8年6月5日（金） 14：30 ～ 16：00

場 所：みどりの学園義務教育学校 校長室

次 第

1 開 会

2 任命書交付

3 挨拶・委員紹介

- ・ 学校長挨拶
- ・ 委員紹介（自己紹介）

4 説明・報告事項

- ・ 令和8年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について
- ・ 令和7年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和8年度予算計画（案）について

5 会長・副会長の選出

6 協 議

- (1) 学校運営の基本方針（グランドデザイン）について
- (2) 地域連携事業について
 - ア 地域人材の活用について
 - イ 「今の教育について一緒に学ぶ会」について
 - ウ 7月期「マルシェ」について
- (3) その他
 - ・ 支援企業の紹介（理想科学工業株式会社）
 - ・ 本日の「みどりのタイム」について

7 閉 会

